



令和 6 年 4 月 23日(火) 例会 (第2905回) 報告(曇) No.2733

出席率 …… 26/40 65.00% 第2903回補正出席率 …… 37/42 88.10%

欠席者 吾郷、内田、角田、小坂、小藤、庄司、高瀬、谷田、友森、中村、浜田(一)、堀田、松本(勝)、松本(正)、村山
メイクアップ(合同IM) 15名 (5SRC会長幹事会) 4名
(コンペ⑩) 7名 (青少年委) 8名
出席免除 足立、岡空、酒井(英)、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 赫 太郎 会長

私の経歴を簡単にお話しします。1991年に遊学先のアメリカから兵庫県の実家に戻り、92年に父が経営する会社、甲陽ケミカルに入社。営業を行いながら、境港にあるキトサン工場のサポート、製造研修、分析研修などを通じて製品の理解を高めました。2005年より社長を継ぎ、キトサンの他にグルコサミンを次の柱に決めました。2009年に東京に移住して営業を強化し、その後、境港工場の責任者が病気で死亡したため2018年に境港(米子)に移住しました。

◆幹事報告 浜田貴稔 幹事

◎小林哲会員へ「PRF+2 認証バッジ」 ◎石倉G事務所より「End Polio Nowキャンペーン感謝状」「PPS登録証」「新会員セミナー案内」「台湾東部地震支援金のお願い」 ◎榊原GE事務所より「大阪・関西万博開幕日入場券申し込み案内」 ◎「Rカード取得率実績」他が届く ◎次週(4/30)は休会(定款7条)

◆四つのテスト唱和 北國恵久 職業奉仕委員

4月創立記念日祝い

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1日 藤瀬秀親 | 1日 谷田真基 | 3日 浜田貴稔 |
| 1日 小林 哲 | 1日 定秀陽介 | 5日 浜田一哉 |
| 1日 堀田 收 | 1日 角田祐道 | 10日 佐藤浩延 |
| 1日 松井尚成 | 2日 友森昌幸 | 各会員 |



藤瀬会員 小林会員 松井会員 谷田会員 定秀会員 友森会員 浜田(貴)幹事 佐藤会員

マルチプル・ポールハリス・フェロー(2回目)
≪財団寄付 累計\$3,000達成≫
認証バッジ授与 小林 哲 会員



ポリオプラス・ソサエティ(PPS)
登録証&ピンバッジ交付
足立統一郎、庄司尚史、赫 太郎 各会員



◆委員会報告

◎青少年奉仕委員会…松井尚成 委員長

中海野球・バレーについて、例会終了後に委員会を行います。関係者の皆さんはご参加頂きます様よろしくお祈いします。

◎社会奉仕委員会…谷田真基 委員長

5/26(日)草刈り清掃、まだまだ参加者募集中です。ご参加よろしくお祈いします。

◎親睦委員会…鷺澤美紀 委員長

— スマイルBOX —

◎創立祝 小林、定秀、佐藤、浜田(貴)、藤瀬、松井 【合同IM】○IM報告します 北國 ○IM報告よろしくお祈いします 中田、谷田 ○合同IM、良かったです！ 黒田 ○お疲れ様でした 喜多村、酒井(博) ○IMドタキャン、すみませんでした。報告よろしくお祈いします。 赫 ◎4/12親睦ボウリング大会、たくさんの参加ありがとうございました！大変盛り上がりしました！ 鷺澤 ◎ゴルフコンペ、黒田さん優勝・ドラコン・ニアピン獲得、おめでとうございませす！ 瀬戸 ◎母の葬儀は大変お世話になりました 木村 ◎本日、無断出席しました。 友森 ◎スマイルに協力 平岡

4/12(金)「ボウリング大会」は優勝・高瀬会員。大変盛り上がりしました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

◎ゴルフ同好会…黒田 耕 会長

4/21(日)「第10回コンペ」の各賞表彰いたします。優勝は黒田でした！

— プログラム — 「合同IM報告」

基調講演「ロータリーあれこれ」

講師 庄司尚史 地区パストガバナー

北國恵久 会員

講演で特徴的だったのが冒頭の自己紹介で、社名の(資)第式商會が何故「第式」なのかの話。庄司家は、養蚕業を取り仕切る商家だったが、国の鉄道事業に伴い石炭産業が盛んになってきて、自社の二番目の事業として松江市に石炭事業の第式商會を設立し、今日に至っている話をされた。また歴史的に非常に興味深い「家宝の書」の話は会場の注目を集めた。



次に「ロータリーの変化」と「変わらないロータリー」に分けて話され、「変化」としては「デジタル化」「My Rotaryの進化」「ハイブリッド化」「クラブ運営の柔軟化」のキーワードで、時代に合わせたロータリーの変化の話。また、例会の頻度、職業分類、メイクアップ等の簡素化について話をされた。「変わらないロータリー」では、職業人としての奉仕、高潔性、国際性を推進すること。そして四つのテストの理念とポリオ根絶の活動は、変わらず続けていくものであると強調され、最後に「出席なくして親睦なし」「親睦なくして奉仕なし」の言葉で講演を締めくくられた。

記念講演「21世紀の戦争 ウクライナ戦地の日常」

講師 定住旅行家・モデル ERIKO 氏

佐藤浩延 会員

モデルで定住旅行家のERIKOさんは、米子出身で境高校に通い17才でモデルデビュー。これまでに50か国以上、115の現地の家庭で暮らし、生活の様子を世界へ発信する旅を続けています。



ウクライナには昨年9月に訪問し、「欧州の穀倉地帯」と呼ばれる肥沃な大地は、戦争で一変！

長引く戦争によって、飛行する物体がどんな種類のミサイルなのかを聞き分けられ、空襲警報はおろか、ミサイルが街に落ちてあまり話題にならず、戦争の中であって普通の日常生活が営まれ、スーパーでは物が充分にあり、嗜好品の在庫もしっかりと行き届いているとのことでした。

ウクライナの人々は平和より戦争に勝つことを望み、自分たちの手で勝ち取った自由と民主主義は絶対に守るという強い思いがあり、ロシアから領土を取り戻し追い出すまで戦い続け、終戦を口にする人はいなかったそうです。

今回(5月7日)のプログラム

「北東アジアゲートウェイ境港」
境港管理組合 次長 倉本政寛 氏

次回(5月14日)のプログラム

「ロータリー財団って？」
ロータリー財団委員会 松本 正 委員長